

基金名称 東北大学特定基金 医学部・医学系研究科「未来医療への22世紀基金」

ご寄附の方法

個人

- 郵便振替[同封の払込取扱票をご利用下さい。]
- 銀行振込[振込票をお送りいたしますのでご連絡下さい。]
【取扱銀行 七十七銀行 みずほ銀行】
- クレジットカード決済[ウェブサイトよりお手続き下さい。]
【取扱カード   mastercard】



東北大学基金



法人・団体

お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡下さい。

税制上の優遇措置

個人

東北大学へのご寄附は、税務署に所得税の確定申告をしていただくことにより、所得額の40%を上限とする寄附金額から2,000円を差し引いた額の所得控除を受けることが出来ます。また、お住まいの都道府県・市町村が条例で本学を寄附金税額控除の対象に指定している場合は、住民税の控除対象になります。詳細はお住まいの地域を管轄する税務署・各自治体にお問い合わせください。

法人・団体

東北大学へのご寄附は、法人税の申告の際に全額を損金に算入することができます。

顕彰、特典

感謝の気持ちを込めて

■ 芳名の掲載

「東北大学基金寄附者芳名帳」および「東北大学基金ウェブサイト」に掲載いたします。

■ 賞および記念プレートの贈呈（デザインは変更となる場合がございます。）

ご寄附の総額に応じて賞を贈呈させていただきます。



種別	個人	法人・団体
栄誉功労賞	3,000 万円以上	1 億円以上
特別功労賞	1,000 万円以上	5,000 万円以上
功 労 賞	100 万円以上	1,000 万円以上
特別功績賞	50 万円以上	500 万円以上
功 績 賞	10 万円以上	100 万円以上

■ 東北大学ロゴマークのオリジナルシールを謹呈

蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

■ 功績賞以上の賞を受けられた寄附者さまに、以下の特典をご用意しています。

1. 寄附者顕彰銘板への芳名の掲載／東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載させていただきます。
2. 「感謝のつどい」へのご招待／総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。
3. 東北大学校友会プレミアム会員の特典の提供／広報誌の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。
4. 「未来医療への22世紀基金」感謝状盾の贈呈／医学部長・医学系研究科長から感謝状盾を贈呈させていただきます。
5. 「未来医療への22世紀基金」寄附者顕彰銘板への芳名掲載 ※星陵キャンパス内の医学部構内に設置予定

● 未来医療への22世紀基金事業に関するお問合せ

東北大学医学部・医学系研究科経理課財務係
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号
☎ 022-717-8011
✉ med-kikin@med.tohoku.ac.jp
🌐 <http://www.med.tohoku.ac.jp/>

● ご寄附の方法・東北大学基金に関するお問合せ

東北大学基金事務局（東北大学総務企画部社会連携課内）
〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
☎ 022-217-5058・5905
✉ kikin@grp.tohoku.ac.jp
🌐 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>

● 遺贈・財産相続でのご寄附に関するお問合せ

東北大学基金遺贈寄附サポートセンター／〈受付時間〉平日9:00～17:00 お気軽にご連絡ご相談下さい。
【フリーダイヤル】 0120-279-514 （つながぐ・ご意思）

東北大学医学部・医学系研究科

Tohoku University Graduate School of Medicine

未来医療への22世紀基金

東北大学特定基金へのご支援のお願い



東北大学基金
Tohoku University Fund





22世紀に向けた世界最高水準の医学研究・教育の推進のために 「未来医療への22世紀基金」ご支援のお願い



東北大学医学部は、東北帝国大学医科大学として1915年に開設され国立医育機関としての活動を始めました。その源流は1872年に創立された宮城県立医学所、さらには1817年の伊達藩による「仙台藩医学校」設立に遡ることができます。

本学は、この100年を越える歴史の中で、「研究第一」・「門戸開放」・「実学尊重」の3つの東北大学理念のもとに、常に未来を見据えた、先取的な教育体制を進化させてきました。その中でも本医学部は、教育・研究・最先端医療を統合して推進しながら、世界的な研究者ならびに多くの指導的な医療従事者を輩出し、日本と世界の医学・医療の発展に貢献をなしてきました。

2015年には開設100周年を迎え、多くの皆さまからのご厚意を賜り、「東北大学医学部教育研究支援基金」を設置しました。百周年記念事業である「医学部開設百周年記念ホール～星陵オーデトリウム～」の建設をはじめ、学生・大学院生・若手研究者の教育と研究活動の支援や環境整備などの様々な活動支援に活用させていただいております。

これからは22世紀を見据え、超高齢社会をより豊かで活力あるものとするために、ゲノム情報、IoTやAI技術を活用した医療の研究や開発を促進し、「個別化予防」、「個別化治療」を広く社会に根付かせることが我々の重要な使命です。

東北大学大学院医学系研究科・医学部では、世界に先駆けた「未来医療」の実現に向けて長期的な視野に立った先進的・学際的・創造的研究を推進するために「医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金」を設置しました。

是非、皆さまからの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年4月

東北大学大学院医学系研究科長・医学部長
八重樫 伸生



「未来医療への22世紀基金」趣意書

東北大学医学部、大学院医学系研究科では、医療情報とゲノム情報などの生体情報に基づく個人個人の特性に応じた次世代医療の開発、また、災害医学研究など、新しい学問領域の開拓に挑戦を続けております。さらに、2017年6月には文部科学大臣から指定国立大学法人の指定を受け、未来型医療の世界的教育研究拠点形成に向けた大いなる挑戦もスタートしております。

「未来医療への22世紀基金」は、国際社会で活躍する創造性豊かな次世代医療人材の育成事業、未来医療構築に資する研究体制と産学連携を含む社会実装体制の構築事業、世界的拠点に相応しい教育研究施設・キャンパス環境などの修学環境整備事業の3つの支援活動を通し、これまでの様々な挑戦を更に加速し、来る22世紀を見据えて世界に先駆けた未来医療の実現を目指す教育研究活動を推進するために活用してまいります。



基金の使途 ～未来医療の実現に向けて～



〈医学部奨学賞授与式のようす〉

▶ 次世代医療人材育成事業

学生・大学院生の経済的支援・海外留学支援、学生の研究活動支援(MD-PhDコース在籍者の経済的支援)、若手研究者の萌芽的研究支援・海外留学支援

短期目標	若手医学研究者の研究活動の推進
長期目標	国際社会で活躍する創造性豊かな次世代医療人材の育成



〈ゲノム情報の解析のようす〉

▶ 未来医療への挑戦事業

未来医療構築に資する教育・研究体制の構築、産学連携活動の推進

短期目標	未来医療の教育・研究活動の推進
長期目標	未来医療の実現



〈医学部医学科4年生白衣式のようす〉
(医学部開設百周年記念ホール ～星陵オーデトリウム)

▶ 修学環境整備事業

機能的かつ快適な修学研究環境を提供する医学教育設備及びキャンパス環境の整備

短期目標	医学部研究棟・講義棟、附属図書館医学分館、星陵体育館整備
長期目標	未来医療の世界的拠点に相応しい教育研究環境の実現